

平成 21 年 7 月 3 日
小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議事務局
小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会事務局

環境省関東地方環境事務所
林野庁関東森林管理局
東京都
小笠原村

平成 21 年度小笠原諸島世界自然遺産候補地 地域連絡会議・科学委員会合同会議の開催について

世界自然遺産候補地である小笠原諸島の自然環境の保全・管理について、同候補地の適正な管理のあり方を検討すること等を目的に設置された標記会議と、科学的な見地からの検討を行うこと等を目的に設置された標記委員会を下記のとおり合同開催します。

記

平成 21 年度小笠原諸島世界自然遺産候補地 地域連絡会議・科学委員会合同会議

日時：平成 21 年 7 月 10 日（金）15:30～17:30

場所：父島地域福祉センター 1 F ホール（東京都小笠原村父島奥村）

科学委員会については、小笠原村東京連絡事務所（東京都港区海岸 1-12-2 竹芝客船ターミナル 2 F）でのテレビ会議による合同開催です。

主な議題：推薦書の検討について

管理計画の検討について ほか

その他：会議は公開で開催されます。

小笠原村東京連絡事務所での傍聴は会場の都合上、事前登録が必要です。

- 連絡先 -

環境省関東地方環境事務所

直通 TEL：048-600-0816

E-MAIL：TAKATOSHI_OTA@env.go.jp

担当：国立公園・保全整備課

太田（おた）

小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会
構成員一覧

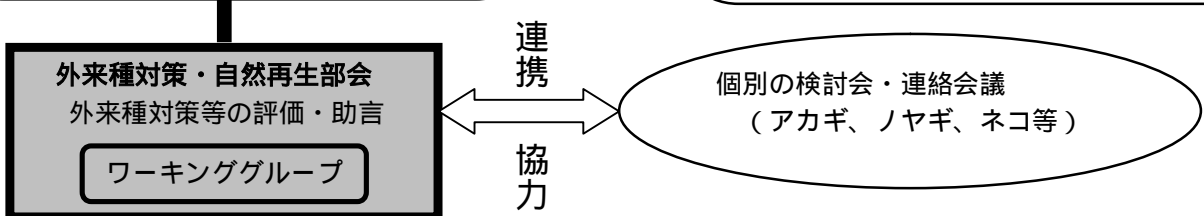
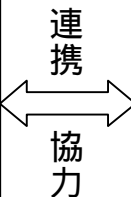
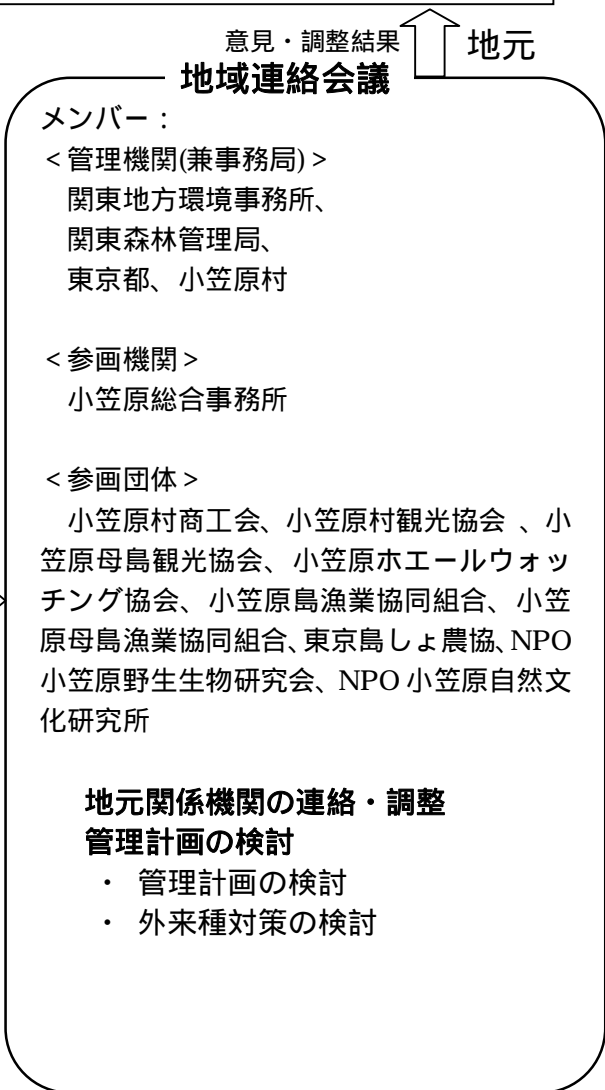
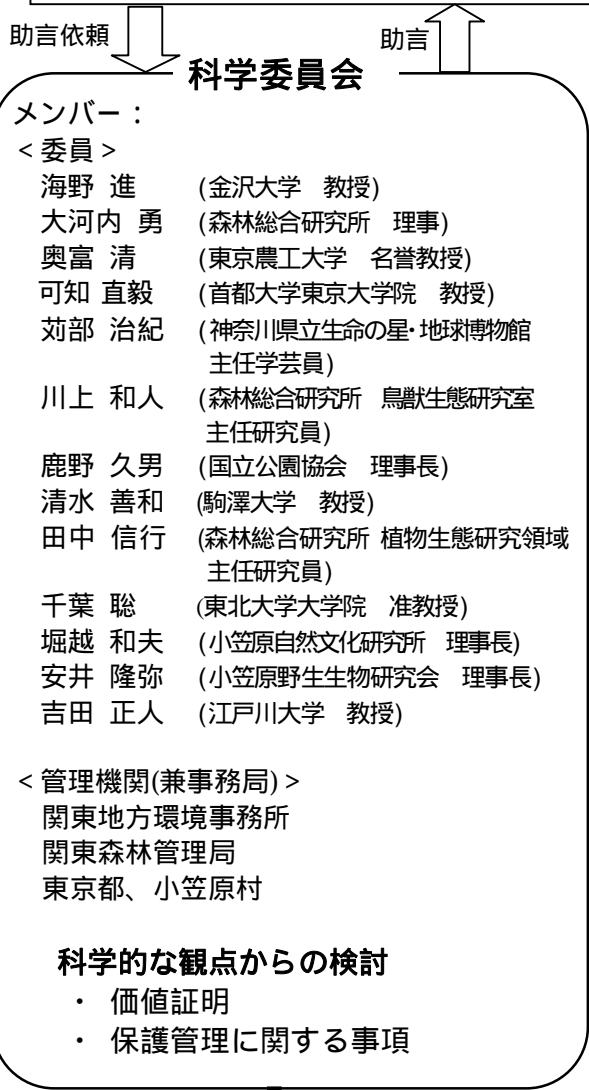
【委員】

(50音順)

氏名	所属機関・団体及び役職
海野 進	国立大学法人 金沢大学 理工学域自然システム学系 教授
大河内 勇	独立行政法人 森林総合研究所 理事
奥富 清	国立大学法人 東京農工大学 名誉教授
可知 直毅	首都大学東京大学院 理工学研究科 教授
効部 治紀	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員
川上 和人	独立行政法人 森林総合研究所 野生動物研究領域 鳥獣生態研究室 主任研究員
鹿野 久男	財団法人 国立公園協会 理事長
清水 善和	駒澤大学 総合教育研究部 教授
田中 信行	独立行政法人 森林総合研究所 植物生態研究領域 主任研究員
千葉 聡	国立大学法人 東北大学大学院 生命科学研究科 准教授
堀越 和夫	特定非営利活動法人 小笠原自然文化研究所 理事長
安井 隆弥	特定非営利活動法人 小笠原野生生物研究会 理事長
吉田 正人	江戸川大学 社会学部ライフデザイン学科 教授

地域連絡会議・科学委員会等との相関関係図

世界遺産条約関係省庁連絡会議
世界遺産一覧表への我が国推薦物件のとりまとめ



遺産推薦に向けたこれまでの経緯と今後の主な手順

【地域連絡会議等の設置】

- ・平成18年11月14日 関係省庁連絡会議に報告
- ・平成18年11月22日 第1回地域連絡会議の開催
- ・平成18年11月29日 第1回科学委員会の開催
- ・平成18年12月21日 第2回科学委員会の開催
- ・平成19年 1月13日 第2回地域連絡会議の開催

-----> 暫定リスト提出に対する
地元関係者の合意

【暫定リスト提出手続】

平成19年 1月29日 関係省庁連絡会議による暫定リスト提出決定

-----> 日本政府としての決定

平成19年1月30日 世界遺産委員会事務局(ユネスコ)への暫定リスト提出

・平成19年 2月22日 地域連絡会議・科学委員会(合同会議)の開催・報告

《今後の主な手順》

以下の手続き、検討・作業などを実施

- 『管理計画』の検討・策定
- ・保全管理方策の検討
- 『推薦書』の検討・作成
- ・遺産区域の検討、・価値の証明
- ・推薦地の説明等
- 『外来種対策』の実施・アクションプラン検討

管理計画のパブリックコメント
関係審議会への報告

関係省庁連絡会議による推薦書提出決定

保護担保措置

- ・国立公園
- ・鳥獣保護区
- ・森林生態系保護地域
- ・天然記念物

外来種対策

- ・中長期目標・取組方針の設定
- ・外来種駆除の重点実施
- ・継続的な事業推進の仕組みづくり

【遺産推薦手続】

世界遺産委員会事務局への推薦書仮提出(H21.9.30)

(毎年9月30日〆切)

世界遺産委員会事務局への推薦書本提出(H22.2.1)

(毎年2月1日〆切)

【評価】

世界遺産委員会の諮問機関による評価

【遺産登録審査】

世界遺産委員会における審査・登録の可否決定

(推薦書提出の翌年7月頃)

第2回科学委員会(H18.12.21)における助言

「本日の検討を踏まえて、政府において暫定リスト提出に向けた準備を進めていただきたい。また、外来種対策について、推薦の際に一定の成果を示すとともに、将来的にも価値を維持できる見通しをつける必要がある。そのため、関係機関や地域の住民、団体が連携・協力して、概ね3年程度しっかりと対策に取り組んでいただき、3年後を目途にした推薦書提出への歩みを着実に進めていくことを期待する。」

父島地域福祉センター

住所: 東京都小笠原村父島奥村

マップ

